

教宣 せぶん

実 感

私たちの社員制度を閉ざすとした、あの「通知・提案」から10月7日で1年が経とうとしています。人それぞれ思いがあるのですが、私はこの間に様々な行動を行い、その都度色々な感情をもってきたせいも、あの「通知・提案」がもっと以前に出されたような気がしてなりません。「まだ1年しか経っていないの?」というのが率直な感情です。年を重ねるごとに1年が経過するのが早く感じる人が多いものです。「あれからもう1年経つのか」「月日が経つのは早いもの」と感じる機会は数多くありますが、こと組合、こと制度廃止問題に関しては「時間がゆっくり流れているような気がしてならない」というのが実感です。1年の行動がマンネリ化していると月日が経つのが早く感じるのですが、刺激ある毎日を送っているからこそ「時間がゆっくり流れている」と感じるのかもしれない。

さて、この1年間、特にこの10月を迎え、私たちの働く環境は激変しました。RA支社はなくなり、いわゆる混在課所に統合されたことにより、RA支社に在籍した方々たちは引越しを余儀なくされ、混在課所の空気に初めて触れることになりました。「こんなことまで東海社のしきたり、文化に片寄せされていたのか」と感じることもあるのではないのでしょうか。また、引越しがなかった、すでに混在課所に在籍していた方たちも、契約係の仲間が去ったことにより、以前では感じなかった「孤立感」を味わうということがあるかもしれません。同じ職場に、同じ志を持った、同じ境遇の、意思疎通ができる仲間がいるということがどれだけ頼もしいか、幸せなことなのか、「ひとり職場」にいる組合員は感じているかもしれません。

置かれている立場・境遇に違いこそあれ、私たちはあらためて同じ目的にむかって気持ちをひとつにしていきましょう。決して「ひとりではない」ことを実感するためにも、このホームページを利用してみてはいかがでしょうか。投稿欄に思いを書けば「つながっている」実感が得られるはずですし、「一体感」を感じることはできるはずです。ホームページに掲載された「ネタ」をテーマに仲間と連絡をとってみてください。同じ思いを持っているかもしれません。

財政的に一同に会せる機会はありませんが、その分情報交換を密にして、かたまっている、まとまっている、つながっている意識を常に持たせよう。たたかいはこれから佳境に入っていきます。経営がもっとも嫌がるのは私たちの団結です。いまをたたかって明日を拓きましょう。